

近畿大学次世代基盤技術研究所

～出会いと連携の研究拠点～

独自性ある研究の推進と、地域密着型で技術課題の解決に貢献

1. 研究所の概要

これからの時代は、民間企業や関係省庁など、外部の協力も得て「社会に役立つ研究」を進めることが必要です。近畿大学では、1996年に設立した「工業技術研究所」を、さらに研究分野を拡大・深化させるため、2010年に「次世代基盤技術研究所」として新設しました。本研究所の設置目的は、次世代基盤技術に関する総合的な調査及び研究を行い、持続可能な社会を構築できる技術開発と地域社会の技術の発展に寄与することとしております。

研究棟は、2009年度（平成21年度）に採択された文部科学省「戦略的研究基盤形成支援事業」による研究用施設として2010年3月に整備し、産学官連携を推進する社会連携センター、自動車技術研究センター、建築環境研究センター、バイオ工学研究センター、サービス工学研究センターを設置しました。

■ 研究所の組織

次世代基盤技術研究所

Research Institute of Fundamental
Technology for Next Generation

- ・人員 26名
(うち、専任教員2名、兼任教員24名)
- ・担当事務員 2名

(2010年4月現在)

社会連携センター

自動車技術研究センター

建築環境研究センター

バイオ工学研究センター

サービス工学研究センター



次世代基盤技術研究所・研究棟（工学部のある広島キャンパス（東広島市）内に設置（2010年3月竣工））

研究所では、様々な活動を通じて、産官学連携を推進しています。

現在、主な事業として、研究公開フォーラム、社会人リカレント講座、研究室訪問の定期開催、特許セミナー、広島銀行・もみじ銀行の寄附講座等を行っています。

